

まちづくり交付金 事後評価シート
日立市中心市街地区

平成20年12月

茨城県日立市

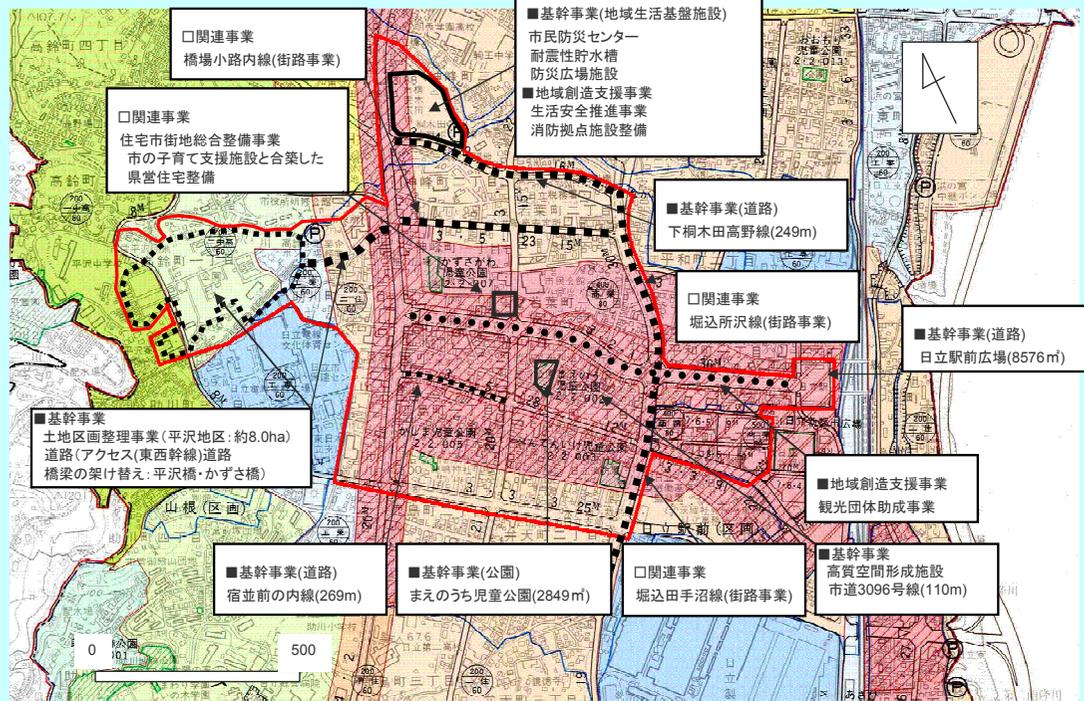
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	茨城県		市町村名	日立市		地区名	日立市中心市街地区			面積	87ha		
交付期間	平成16年度～20年度		事後評価実施時期	平成20年度		交付対象事業費	2,698百万円	国費率	0.24				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	事業名 道路(市道改良2路線、駅前広場1箇所)、公園(街区公園1箇所)、高質空間形成施設(カラー舗装)									
			提案事業	なし									
	当初計画から削除した事業		基幹事業	事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
			提案事業	なし			なし			なし			
	新たに追加した事業		基幹事業	道路(市道改良1路線、橋梁2箇所)、地域生活基盤施設(備蓄倉庫、貯水槽、防災広場)、土地区画整理事業(1地区)			道路: 中心市街地と土地区画整理地区との回遊性創出 地域生活基盤: 防災機能の強化 土地区画整理: 都心居住人口の回復			道路: 目標に住環境の改善について追加 地域生活基盤施設: 目標に防災機能の強化について追加 土地区画整理: 目標に住環境の改善について追加するとともに指標4を追加			
提案事業			生活安全推進事業、消防拠点施設整備、観光団体助成事業			生活安全: 防災意識の普及・啓蒙 消防拠点: 防災機能の強化 観光団体: 中心市街地の賑わい寄与			生活安全: 目標に安心・安全なまちづくりの推進を追加するとともに指標5を追加 消防拠点: 目標に防災機能の強化を追加 観光団体: 影響なし				
交付期間の変更		当初変更	平成16年度～20年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	歩行空間(歩道)のバリア(段差)延長	m	90	H13	0	H20	モニタリング	0	○	あり なし	日立駅前広場は改修により歩行者の安全性やアクセス性、各種交通の利便性が向上した。	
	指標2	中心市街地の文化施設の利用状況	%	100	H13	115	H20		86	×	あり なし	交流センターは利用回数の制限、市民会館はイベント興行の減少による。その他の数値指標1・2で補完	平成21年8月頃
	指標3	まへのうち児童公園のイベント時における集客数	人/年	1,000	H14	5,000	H20		5,954	○	あり なし	再整備によりイベントにも使えるまちなかのオープンスペースとなったことによる。	平成21年5月頃
	指標4	狭隘道路の解消	m	1,500	H16	0	H20		0	○	あり なし	平沢地区は土地区画整理事業により狭隘道路は解消され、交通安全の向上が図られた。	
	指標5	防犯・防災に関する市民参加と普及啓蒙	人/年	300	H15	1,500	H20		2,502	○	あり なし	会議室も増え、かつ一度に多人数が受講できるようになったことによる。	平成21年5月頃
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	地区内主要イベントの入込み客数や参加者数	人	246,290	H15			モニタリング	576,085			入込み客数や参加者数は増加傾向にあり、交流人口は拡大している。	
	その他の数値指標2	子育て支援施設の利用者数	人	0	H15				20,430			親子で遊べるプレイルームや子どもの一時預かりサービス等により来街者の増加に貢献している。	平成21年8月頃
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 消防拠点施設に設置された教育展示コーナーは子どもから大人まで楽しみながら防災に関する情報や知識を得られる内容で、施設見学者にも大変好評であり防災に関する普及啓蒙に貢献している。 消防拠点施設で開催した新生活安全フェスティバルは多くの来場者で賑わい、防犯・防災に関する普及啓蒙に貢献した。 下桐木田高野線の整備により国道6号をはじめとする地区内道路の交通が円滑化した。 平沢土地区画整理事業の推進により良好な環境の市街地が形成された。 地区内にマンションの立地が増えているが、駅前広場改修や道路整備、基盤整備による街並み環境の向上も立地の促進に貢献していると思われる。 												
5)実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等								
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた										
	住民参加プロセス	まへのうち児童公園再整備にかかるワークショップ	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		ワークショップにより公園の再整備計画ができ、メンバーはその後、公園の維持管理・活用に携わる里親の母体となった。里親に対しては、公園の維持管理・活用に必要物資や資材等の支援を行う。								
持続的なまちづくり体制の構築	公園の里親によるまへのうち児童公園の維持管理・活用	都市再生整備計画に記載し、実施できた		公園の維持管理・活用に引き続き里親に支援を行う。									

様式2-2 地区の概要

日立市中心市街地区(茨城県日立市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値				
<p>成長型都市から成熟型都市への転換期にあつて、都市の活力を維持増進し、市民生活の利便性の向上を図るためには、都市基盤・都市環境の再生、災害に強い安全・安心なまちづくりの推進及びコンパクトな都市の実現を目指し既成市街地における住環境の再生を進める必要がある。</p> <p>「日立市中心市街地区」は、本市の都市拠点でありまちの顔であることから、交通結節点の機能強化・都市景観の向上・潤い空間の創出などの基盤整備、都心居住人口の回復の一環として市街地開発事業等による住環境の改善、消防拠点施設を新設し防災機能を強化するなど、一体的・総合的に進めることによって中心市街地の活性化を図り、地区の活力を取り戻し都市拠点の再生を図るものである。</p>	歩行空間(歩道)のバリア(段差)延長	単位:m	90	H13	0	H20	0	H20
	中心市街地の文化施設の利用状況	単位:%	100	H13	115	H20	86	H20
	まへのうち児童公園のイベント時における集客数	単位:人/年	1,000	H14	5,000	H20	5,954	H20
	狭隘道路の解消	単位:m	1,500	H16	0	H20	0	H20
	防犯・防災に関する市民参加と普及啓蒙	単位:人/年	300	H15	1,500	H20	2,502	H20



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画道路の整備やフルモールのセミモール化、歩道整備等を行い地区内の交通環境の改善を行ってきたが、バリアフリー化が済んでいない道路が残されている。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 日立駅前広場はバス、タクシーの利用状況や駅舎の橋上化事業を踏まえながら、機能拡張について検討を進める。 日立市交通バリアフリー特定事業計画に基づき、引き続き道路のバリアフリー化を進める。 まへのうち児童公園の里親には引き続き継続的な活動を支えるための支援を行う。 平沢地区は土地区画整理事業により良好な住環境の整備及び定住の促進を図る。